

平成22年4月9日  
新しい公共円卓会議資料

平成22年4月9日  
第5回「新しい公共」円卓会議  
谷口委員提出資料

# ソーシャルビジネスの振興について

1. 新しい公共とソーシャルビジネスの関係
2. ソーシャルビジネスの課題とこれまでの取り組み
3. 事業者及び支援者が集う「場」の構築(地域ブロック協議会)
4. 担い手が生まれ育ち活性化する環境の整備

# 新しい公共とソーシャルビジネスの関係

## ソーシャルビジネスとは

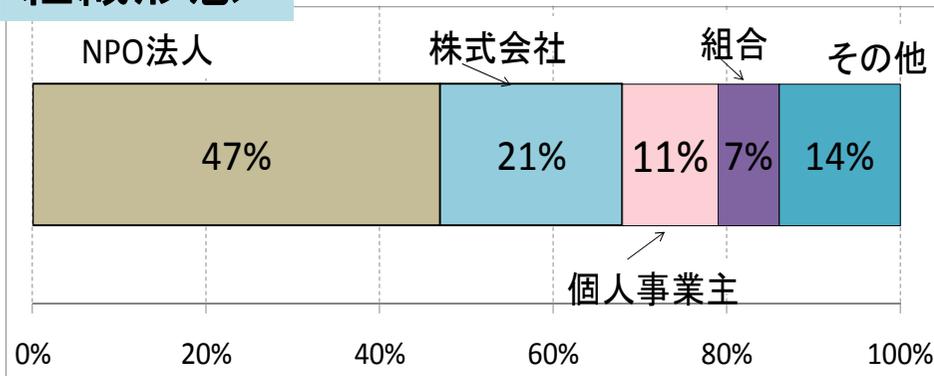
○子育て支援、環境、地域活性化等の社会的課題に対し、ビジネスの手法を活用して解決していく事業主体。

(主な活動分野)福祉・保健・医療、障害者・ホームレス支援、子育て支援、教育、環境、地域活性化・まちづくり、観光、安全・安心、文化・芸術、スポーツ、国際交流、フェアトレード、及び、これらの活動への支援 等

○コミュニティビジネスは、ソーシャルビジネスのうち主な事業対象領域が国内にとどまる事業であり、ソーシャルビジネスの概念に包含されている。

○市場規模や雇用者数は、今後さらに拡大する見込み。

## 組織形態



## 市場規模・雇用者数

	事業者数	市場規模	雇用者数
日本	8,000	2,400億円	3.2万人
英国	55,000	5.7兆円	77.5万人

平成20年4月 経済産業省「ソーシャルビジネス研究会報告書」より

○ソーシャルビジネスは新しい公共の重要な担い手になると考えられる。

○ソーシャルビジネスの多種多様な形態・事業内容の実態を踏まえ、主体の「多様性」を確保しながら、「民の自由な発想と創意工夫」が活かされる仕組み・環境づくりを行うことが重要。

# ソーシャルビジネスの課題とこれまでの取り組み

■ 社会的認知度が不足。

■ そのため、企業や行政のパートナーとして認識されず、資金調達も困難。

## (1) 広報・事業環境整備

### ① 先進事例の選定

○先進的な取組を行う事業者をソーシャルビジネス55選として選定し公表。（平成21年3月公表）

### ② 評価のあり方の検討

○ワーキンググループを設置して、企業、金融機関、自治体を交えて、評価のあり方を検討。（平成21年3月公表）

### ③ 資金調達の円滑化

○日本政策金融公庫に融資制度を創設。（平成21年4月～）

■ 社会性と事業性を両立させるための経営ノウハウが不足。

■ 担い手（経営者・従業員）や支援人材が不足。

## (2) ノウハウ移転・人材育成

### ① 中間支援機能強化

○6つの中間支援機関のノウハウを57の中間支援機関へ移転・育成。（平成21年度）

### ② 先進モデル他地域移転支援

○12のソーシャルビジネス事業者のノウハウを他地域の46事業者へ移転。（平成21年度）

### ③ 村おこしに燃える若者等創出

○10のソーシャルビジネス事業者が新たに107名を育成。（平成21年度）

■ 関係者が集う場がなく、ニーズと意欲ある担い手のマッチングがなされにくい。

## (3) 集まる「場」の設定

### ① ソーシャルビジネス推進イニシアティブ

○全国から関係者が集い、全国規模の支援活動のあり方を検討。**ソーシャルビジネス・ネットワーク（仮称）**を平成22年度中に設立予定。

### ② 全国フォーラム

○日本最大級のSB見本市として、ソーシャルビジネスメッセを開催。（平成22年3月開催）

### ③ 地域ブロック協議会

○**全国9ブロック（北海道、東北、関東、中部、近畿、中国、四国、九州、沖縄）**に設置。

地域の産業や雇用の創出主体としてのソーシャルビジネスの発展により  
**地域の経済・社会の活性化を実現する**

# 事業者及び支援者が集う「場」の構築(地域ブロック協議会)

各地域において、事業者及び支援者がネットワークを形成し、社会的課題をビジネスとして解決する動きを活発化させていく「場」を構築。

平成22年3月現在

北海道コミュニティビジネス・ソーシャルビジネス協議会  
代表者: 河西邦人(札幌学院大学教授)  
事務局: 財団法人北海道地域総合振興機構  
連絡先: <http://www.hamanasu.or.jp/ezobiz/>

近畿ソーシャルビジネスネットワーク  
事務局長: 山田裕子(NPO法人大阪NPOセンター)  
事務局: NPO法人大阪NPOセンター  
連絡先: <http://www.osakanpo-center.com/ksbn/index.html>

中国地域CB/SB推進協議会  
代表者: 吉長成恭(広島国際大学教授)  
事務局: 社団法人中国地域ニュービジネス協議会  
連絡先: <http://www.chugoku-cb-sb.net/>

しまんちゅビジネス協議会  
代表理事: 上地照芳(てらすマネジメント株)  
事務局: NPO法人調査隊おきなわ  
連絡先: <http://www.shima-bis.jp/>

四国地域コミュニティビジネス推進協議会  
代表者: 藤目節夫(愛媛大学教授)  
事務局: NPO法人ループ88四国  
連絡先: <http://shikoku-cb.net/>

九州ソーシャルビジネス促進協議会  
代表者: 田村馨(福岡大学教授)  
事務局: 財団法人九州産業活性化センター  
連絡先: <http://www.sofi.jp/>

東北ソーシャルビジネス推進協議会  
代表者: 加藤哲夫(NPO法人せんだい・みやぎNPOセンター)  
事務局: 株式会社デュナミス  
連絡先: <http://www.tohoku-sb.jp/>

広域関東圏コミュニティビジネス推進協議会  
代表者: 永沢映(NPO法人コミュニティビジネスサポートセンター)  
事務局: NPO法人コミュニティビジネスサポートセンター  
連絡先: <http://www.k-cb.net/>

東海・北陸コミュニティビジネス推進協議会  
代表世話人: 関戸美恵子(NPO法人起業支援ネット)  
事務局: NPO法人起業支援ネット  
連絡先: [http://blog.canpan.info/magti\\_cb/](http://blog.canpan.info/magti_cb/)

# 担い手が生まれ育ち活性化する環境の整備

○ソーシャルビジネスの振興のためには、多様な主体を巻き込む仕組み・環境の整備が重要。

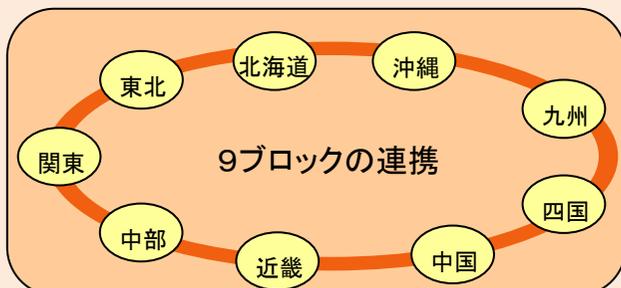
○地域の多様な関係者(自治体、企業、金融機関、大学、中間支援機関、商工団体など)によるつながりを強化して、ソーシャルビジネスの多様性を活かしながら、新たな事業者が発掘・育成され、大きく成長出来る環境の整備を図ることが重要。

○下記のネットワークなどを活かしながら、全政府的にネットワークの拡充と支援の充実を進めることで、ソーシャルビジネスが生まれ育ち活性化する場となる。

## ソーシャルビジネス・ネットワーク (仮称) 平成22年度中に設立予定

- ソーシャルビジネス事業者が中心となり、全国規模の広いセクター間の連携の「場」。
- 事業者同士の経験の共有や、事業者を様々な角度から支援
- 交流・ネットワーキング、普及啓発、事業創出プラットフォーム、インキュベーション、人材発掘・育成、政策提言など。

## 地域ブロック協議会



事業者情報

支援メニュー

地域ニーズ

協力・助言

地域の発意により、民の自由な発想と創意工夫が活かされる先導的なSB環境づくりが進められ、地域ネットワーク構築により、人材育成、事業拡大、他地域への波及が進む仕組みが重要。

## <地域のネットワーク>

